

第三次長野市子ども読書活動推進計画 進捗状況調査票【数値目標進捗状況】

令和2年3月末現在

No.	担当所属	指標項目	計画策定時 現状値 (平成28年度)	計画最終年度 (令和4年度) 目標	令和元年度末現在 実施状況	現況・課題	今後の方向性
1	家庭・地域 学びの課	「おひざで絵本」事業での絵本配付率	92.1%	96.0%	92.4%	<ul style="list-style-type: none"> 絵本配付率はH30(91.3%)に比べ上昇したが、目標値の達成には至っていない。 配付会場である7～8か月児健康教室に参加できない家庭に対して、事業の存在や意義を周知する必要がある。R1年度は、市内に転入した子育て世帯を対象としたイベントにおいて事業紹介を行い周知を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ICTの活用および子育て世帯を対象としたイベント等において、事業の紹介を継続して行っていく。 絵本を配付するだけでなく本の楽しさや読書の重要性を伝えていくため、事業効果を検証するためのアンケート実施を検討する。
2	学校教育課	読書を「好き」と答えた児童・生徒の割合(小6・中3)	小6 80.1% 中3 72.9%	小6 90.9% 中2 80.7%	小6 78.6% 中2 73.6%	<ul style="list-style-type: none"> 前回(H29年度)と同様、小6・中3ともに8割を下回る数値となっており、「好き」か「嫌い」かと聞かれると、「好き」と回答する割合は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 一斉読書、読み聞かせ等の読書に向かう活動を、発達段階にあわせ推進する。
3	学校教育課	一日あたりの読書時間が「10分以上」と答えた児童・生徒の割合(小6・中3)	小6 65.5% 中3 50.7%	小6 68.5% 中3 53.7%	小6 67.0% 中3 55.4%	<ul style="list-style-type: none"> 中学3年生は目標数値を達成しているが、前年と比較すると小6・中3いずれも減少しており、ほとんど読まない児童生徒が一定数存在している。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き、読書旬間など読書に親しむ活動の推進をしていく。
4	長野図書館 南部図書館	市立図書館における児童書の蔵書冊数(0～12歳一人あたり)	209,482冊 (4.89冊)	227,482冊 (5.96冊)	231,160冊 (5.85冊) 【長野図書館】 116,478冊 【南部図書館】 114,682冊 (本館・市民文庫 77,221冊、移動 16,835冊、分室 20,626冊)	<ul style="list-style-type: none"> 毎年度計画的購入を実施し、目標を達成した。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標は既に達成しているが、今後も事業を継続し、児童書の蔵書冊数を毎年増加させる。
5	南部図書館 家庭・地域学 びの課	図書館分室における児童書の貸出冊数	20,830冊	21,730冊	22,950冊	<ul style="list-style-type: none"> 図書館分室における児童書の貸出冊数は、H26 23,493冊(28分室合計)、R1 22,950冊(28分室合計)と、5年間で543冊減少(1年平均 108冊増加)している。既に目標は達成した。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も事業を継続し、図書館分室における児童書の貸出冊数を毎年増加するように努め、最終目標の維持、さらにはそれを上回る実績(現状維持)の達成を目指す。
6	長野図書館 南部図書館	市立図書館おはなし会参加者数	2,610人	2,832人	2,641人 【長野図書館】 1,804人 【南部図書館】 837人	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの年齢に応じた内容のおはなし会を定期的開催している。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月に実施予定のおはなし会は中止したが、H30年度は長野図書館の工事による3ヶ月半の休館期間があったため、H30年度との比較では参加者数が増加した。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も事業を継続し、広報活動の実施等により、おはなし会参加者数を毎年増加させ、最終目標の達成を目指す。

第三次長野市子ども読書活動推進計画 進捗状況調査票【数値目標進捗状況】

令和2年3月末現在

No.	担当所属	指標項目	計画策定時 現状値 (平成28年度)	計画最終年度 (令和4年度) 目標	令和元年度末現在 実施状況	現況・課題	今後の方向性
7	家庭・地域 学びの課	読み聞かせを行う市立公民館数(割合)	25 (86.2%)	29 (100%)	24 (82.8%)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動する読み聞かせボランティアと連携しておはなし会を実施したり、親子学級の中で読み聞かせの時間を設けている公民館・交流センターが多い。 ・地域に子どもが少ない等の理由により、講座を企画したが参加者が集まらなかった公民館・交流センターもあり、開催方法や参加者の募集方法を工夫していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館・交流センターを利用する地域の読み聞かせ団体や子育てサークルと連携して引き続き読み聞かせを実施していく。 ・子育て世帯が少ない地区では、祖父母世代に向けて乳幼児期からの読書の重要性を啓発するなど、それぞれの地域の実情に応じた実施方法を検討していく。
8	学校教育課	「学校図書館図書標準」達成学校数の割合	小学校 96% 中学校 75%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 98.1% 中学校 88.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の実績として、小学校・中学校ともに目標数値を下回っている。 ・「学校図書館図書標準」は、蔵書数の評価であるが、蔵書の質、学習ニーズに合った蔵書であるかどうかの検証も必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も必要に応じて学校図書館予算の措置をしていく。 ・「学校図書館廃棄基準」、「学校図書館メディア基準」等での評価、検討を行う。